

平成30年度（英語科）教育指導計画

（1）科目の配当・分担表

（必修 ◎，選択必修 ○，選択 △）（講師：*）

学 年	科 目 名	必修・選択	単位数	クラス数	時数	担当者名
1	コミュニケーション英語Ⅰ	◎	3	4	12	加藤 晃浩 /*アントニー・ペッコーバー
	英語表現Ⅰ	◎	2	4	8	乾 まどか
2	コミュニケーション英語Ⅱ	◎	3	4	12	上田 愛 /*ロス・ワータネン
	英語表現Ⅱ	◎	2	4	8	富田 大介
3	コミュニケーション英語Ⅲ	◎	3	4	12	飯尾 力
	英語表現Ⅱ	◎	2	4	8	富田 大介
	選択英語（発展）	△	2	2	4	乾 まどか
	選択英語（基礎）	△	2	2	4	飯尾 力

(2) 指導計画表

<p>科目名：コミュニケーション英語 I</p>	<p>学年：1年</p>	<p>単位数：3</p>	<p>担当者名：加藤 晃浩</p>
<p>1. 指導目標 《生徒視点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい発音を身につける。 ・単語帳を用いて自主的に単語学習を進める。 ・E E I で習得した文法知識を以下の4技能に活かし、定着させてゆく。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、未知語があっても内容を推測しながら理解することができる。 ・文法の正誤にとらわれ過ぎず、自分の考えや意見を相手に伝わるように即興で話すことができる。 ・前もって準備したうえで、説得力をもって自分の考えを伝えることができる。 ・概要や事実関係を正確に読み取ることができる。 ・本文に関する意見や要点を基礎的な語彙を用いて書くことができる。 ・授業で学んだことを踏まえて、定着活動を中心とした家庭学習（①新出単語の暗記 ②本文の再読 ③日本語から英語本文の再現練習）を自律的に行う。 <p>2. 評価観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア&グループワークへの積極的な取り組み ・スピーチ活動や音読テストでの発音の正確性 ・発表活動における思考力・判断力・表現力 ・単語テストや定期考査における英語理解の能力と知識理解の程度 ・ノートから読み取れる自律的な学習の様子 <p>3. 指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の本文内容の再確認と本時の導入 ・新出単語の発音練習 ・簡単なQに対する本文のリスニング、リーディング ・英問英答を中心とした図式による内容理解 ・重要表現や複雑な構文、論の運び方などの形式理解 ・難しいQに対する自己表現活動 ・ペアによる本文音読練習、暗唱 ・本文の要約、ストーリーリテリング ・振り返り ・その他 Role Play, Speech, Discussion など 		<p>4. 評価方法 左記の「2. 評価観点」を具体例として、授業や考査に関する全てを総合的に評価する。 (参考) ・定期考査は100点満点の筆記試験を行う。 ・10月には単語大テストを行う。 ・出席や提出物、授業態度も評価に含む。</p> <p>5. 年間計画 <1学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson 1: The Power of Vision and Hard Work ・ Lesson 2: Oh Bento! ・ Lesson 3: The Sky's Your Only Limit ・ Lesson 4: Beavers, Engineers of the Forest <p><夏期課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Reading 1: The Night Train at Deoli ・ Reading 2: The Immortal Bard <p><2学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson 5: Chocolate: A Story of Dark and Light ・ Lesson 6: The Power of Music to Change Young Lives ・ Lesson 7: Talking Plants ・ Lesson 8: One Pen Can Change the World <p><3学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson 9: Snow Crystals — Winter's Miracles of Beauty ・ Lesson 10: The Secrets of the Iceman 	
		<p>使用教科書：PRO-VISION English Communication I (桐原書店) 副教材・テキスト等 『システム英単語』 (駿台文庫) 『Vision Quest 総合英語』 (啓林館)</p>	

科目名：英語表現 I	学年：1年	単位：2	担当者名：乾まどか
<p>1. 指導目標 ☆英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。 ◇中学校で学んだ文法・構文・表現の復習 ⇒ 自動化 ◇文法・構文・語法・表現の認知的理解を促進する。 ◇音声を核として、文法・構文・語法・表現の内在化を促進する。⇒ 自動化</p> <p>2. 評価の観点 ◇授業に対して能動的な姿勢を持って参加しているか。 ◇音声を中心とする練習・コミュニケーション活動に積極的に参加して取り組んでいるか。 ◇授業の予習・復習を通して、文法・構文・語法・表現の理解・定着を図ろうと努めているか。</p> <p>3. 指導方法 ◇音声中心の一斉練習・ペアワーク・グループワーク ◇認知的理解を促す説明 ◇音声を核とした内在化を促す復唱練習 ◇音声を核とした内在化を促す問題演習 ◇実際の言語使用を促すコミュニケーション活動</p> <p>4. 評価の方法 [定期考査の得点 + 平常点]を最終的に総合評価する。 (1)定期考査――1学期期末、2学期期末、3学期期末テストの合計3回 『英語表現 I』として100点満点の筆記試験（リスニングを含む）。 (2)平常点―――单元ごとの小テスト、課題テスト、課題提出、出欠状況、授業への参加意欲等が対象になる。</p>		<p>5. 年間計画</p> <p>< 1学期 > Lesson 1 紹介 / 文の種類 Lesson 2 興味・関心 / 文型と動詞 Follow-up 1 / Show & Tell Lesson 3 旅行 / 時制 Lesson 4 スポーツ / 完了形 Lesson 5 食事 / 助動詞 Lesson 6 観光 / 受動態 Follow-up 2 / Linking Words</p> <p>< 2学期 > Lesson 7 交際 / 不定詞 Lesson 8 娯楽 / 動名詞 Lesson 9 ルール / 分詞 Lesson 10 文化 / 関係詞 Lesson 11 社会問題 / 比較 Lesson 12 悩み事 / 仮定法 Follow-up 3,4 5 / Paragraph</p> <p>< 3学期 > Summary Useful Words & Phrases</p>	
		◇使用教科書 『Vision Quest English Expression I Advanced』 (啓林館) ◇副教材 『Ultimate 総合英語』(啓林館) 『Sonic Reading 1,2』(桐原書店) 『Listening Box 2』(啓林館)	

科目名：英語表現Ⅱ	学年：2年	単位：2	担当者名：富田 大介
<p>1. 指導目標</p> <p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。</p> <p>◇高Iで学習した文法・構文・表現の定着</p> <p>◇音声、特にリスニングを核として、文法・構文・語法・表現の内在化の促進する。</p> <p>◇文学を教材とし、作品を鑑賞するとともに、その作品に対する考えを英語で表現する。</p> <p>2. 評価の観点</p> <p>◇授業に対して能動的な姿勢を持って参加しているか。</p> <p>◇音声を中心とする練習・コミュニケーション活動に積極的に参加して取り組んでいるか。</p> <p>◇授業の予習・復習を通して、文法・構文・語法・表現の理解・定着を図ろうと努めているか。</p> <p>4. 指導方法</p> <p>◇音声中心の一斉練習・ペアワーク・グループワーク</p> <p>◇認知的理解を促す説明</p> <p>◇作品を理解するための作問の工夫</p> <p>◇実際の言語使用を促すコミュニケーション活動</p>		<p>4. 評価の方法</p> <p>[定期考査の得点 + 平常点]を最終的に総合評価する。</p> <p>(1)定期考査-----1学期、2学期、3学期期末テストの合計3回</p> <p>『英語表現Ⅱ』として100点満点の筆記試験(リスニングを含む)。</p> <p>(2)平常点-----課題提出、出欠状況、授業への参加意欲等を対象とする。</p> <p>5. 年間計画</p> <p><1学期></p> <p>Vision Quest 総合英語 11章 ~ 24章</p> <p>Sonic Reading 2 O'Henry、The Little Prince</p> <p><2学期></p> <p>『be』 English Expression II Section 2 ~ 5</p> <p>Sonic Reading 2 O'Henry、The Little Prince</p> <p><3学期></p> <p>『be』 English Expression II Section 6 ~ 7</p> <p>Sonic Reading 3 O'Henry、The Little Prince</p>	
		<p>◇使用教科書</p> <p>『be English Expression II』(いっずな書店)</p> <p>◇副教材</p> <p>『ビジョン・クエスト総合英語』(啓林館)</p> <p>『Sonic Reading 2,3』(桐原書店)</p> <p>『The Little Prince』(講談社英語文庫)</p>	

科目名：コミュニケーション英語Ⅱ	学年：2年	単位：3	担当者名：上田 愛
<p>5. 指導計画 ≪生徒が≫ ・語彙知識があれば、ナチュラルスピードの音声を聞いて英文の大意を把握することができるようにする。 ・英文を正確に読解することができるようにする。 ・英文を意味のまとまりを意識して正しい発音で音読することができるようにする。 ・授業で学んだことをふまえて、定着活動を中心とした家庭学習を自律的にできるようにする。 ・既習事項である文法や語法の機能面の理解を深め、運用能力の向上を図る。</p> <p>6. 評価の観点 ・質問に対して自分の力で答えようとしているか。 ・ペアワークやグループワークや定着活動に積極的に参加しているか。 ・教材の内容を正確に理解しているか。 ・学んだことや考えたことを英語で表現できるか。 ・小テストや定期考査に対して十分な取り組みができているか。</p> <p>7. 指導方法 JET (週2回) ・単語帳を利用した語彙の小テスト ・速読・多読 ・オーラルインタラクション ・新出単語チェック ・本文リスニング (T/F Questions) ・Q&A を中心とした内容理解チェック ・フレーズ音読練習 ・個別音読練習 ・ペアやグループでのディスカッション ・Activities ・Grammar ・Exercises ・Optional Reading 金曜日—ALT とのティームティーチング (Stretch 3 と自主教材) ・HW のフィードバック ・テキストのトピックについて英問英答による理解の確認 ・テキストの文法などのパターンプラクティス ・ディスカッション (ペアワークやグループワーク) ・テキストのリーディングやビデオ視聴 ・HW (ライティング) ・スピーチ、スキット、プレゼンテーションの指導</p>		<p>4. 評価の方法 定期考査+平常点の得点を基準にして総合評価する。 (1) 定期考査—実力問題を含む筆記試験で年間計4回実施。 (2) 平常点—単語小テスト、スピーチ、音読、インタビューテスト等の実技テスト、授業の参加度、提出物など</p> <p>5. 年間計画 < 1 学期 > ・ Lesson 1: Around the World on a Bike ・ Lesson 3: OOPARTS ・ Lesson 4: Crossing the Border [Stretch] ・ Unit 1: Life experiences ・ Unit 2 : Events ・ Unit 3 : Opinions ・ Unit 4 : Customs ・ Show and tell Speech < 2 学期 > ・ Lesson5 : Saving Cherokee ・ Lesson 6: Ashura--A Statue with Three Faces- ・ Lesson7: Why Biomimicry? ・ Lesson 8: Working against the Clock ・ Lesson 9: The Long Voyage Home [Stretch] Unit 5: Professions and skills Unit6: Recent activities Unit7: Leisure time Unit9: Habits ・ Skit, Show and tell Speech < 3 学期 > ・ Lesson 10: Grandfather's Letters [Stretch] Unit11: In the news Unit12: Travel stories ・ パワーポイントプレゼンテーション</p>	
		<p>◇使用教科書 『CROWN English Communication II』 (三省堂) ◇副教材・テキストなど キクタン 6000 (アルク) Stretch 3 (Oxford) 、多読教材</p>	

科目名：コミュニケーション英語Ⅲ	学年：3年	単位：3	担当者名：飯尾 力
<p>8. 指導計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 辞書を用いて語彙の発音、品詞、意味、用法について適切に調べることができるようにする。 日常生活における様々な場面での英文を聞き、その要点を理解することができるようにする。 教科書の英文を正確に読解することができるようにする。 テキストや状況に合わせて、精読や速読など適切な読み方を行うことができる。 英文を正しい発音でナチュラルスピードで音読することができるようにする。 身近な題材について意見や考えを英語でやりとりすることができるようにする。 学習した語彙や表現を用いて、200語程度のまとまった英文を書くことができるようにする。 授業で学んだことをふまえて、定着活動を中心とした必要な家庭学習を自主的にできるようにする。 <p>9. 評価観点</p> <ul style="list-style-type: none"> 十分な予習をして授業に臨んでいるか。 授業での様々な活動に積極的に参加しているか。 教材の内容を正確に理解しているか。 音読に積極的に取り組んでいるか。 学んだことや考えたことを英語で表現できるか。 自主的に家庭学習を行っているか。 <p>10. 指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアでの語彙チェック 新出単語の定義チェック オーラルインタラクション 内容理解チェック 音読練習 ストーリーリテリング ディスカッション ライティング Comprehension Activities Optional Reading 		<p>4. 評価方法</p> <p>定期考査の得点、実技テストの得点を基準にして総合的に評価する。</p> <p>(1)定期考査ーリスニングテストを含む100点満点の筆記試験で年間計3回実施。 (2)スピーキングテスト (3)ライティング課題</p> <p>(1),(2),(3)以外にも授業の出席状況、参加度、提出物、小テストなども評価に含める。</p> <p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 ></p> <ul style="list-style-type: none"> Lesson 1: An American in the Heart of Japan Lesson 2: Design for Whom? Reading Skill 1: Zip Lines Lesson 3: God's Hands Story 1: Flying Lesson 4: Be Aware! Be Engaged! <p>< 2 学期 ></p> <ul style="list-style-type: none"> Lesson 5: Only a Camera Lens between Us Lesson 6: The Magic of Reality Lesson 7: Being Bilingual Story 2 The Silent Miaow Lesson 8: Green Revolution, Blue Revolution Lesson 9: What's Not for Sale? <p>< 3 学期 ></p> <ul style="list-style-type: none"> Lesson 10: Stay Hungry, Stay Foolish Story 3 The Storyteller 	
		<p>使用教科書</p> <p>『CROWN English CommunicationⅢ』(三省堂)</p> <p>副教材・テキストなど</p> <p>『クラウンチャンクで英単語 Advanced』(三省堂)</p> <p>『Vision Quest 総合英語』(啓林館)</p> <p>『Hyper Listening Pre-Advanced』(桐原書店)</p> <p>『Power Frame 850』(桐原書店)</p>	

科目名：英語表現Ⅱ	学年：3年	単位：2	担当者名：富田 大介
<p>1. 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項である語法・文法項目について、特に語法・文法の形式面だけでなく、機能面の理解を深め、運用能力の向上を図る。 日本語と英語の表現方法の違いに着目し、意識的に反復練習することで直読直解力・即答力の育成を図る。 課題作文における文章構成力を育成する。 <p>2. 評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> 語法・文法項目について、形式・機能を正しく理解し、活用できているか。 四技能の向上のために、全ての活動に積極的に取り組んでいるか。 与えられたトピックに対して、自分なりの捉え方で文章を構成できるか。 ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか。 <p>3. 指導方法</p> <p>語法文法演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 題材中の例文を活用して、語法・文法項目（形式）の確認 問題演習を通して、語法・文法項目（機能）の確認 学習した項目の実践 <p>課題作文</p> <ul style="list-style-type: none"> トピックに対して自らの意見を構築させる。 グループ内での意見交換により、構想を練り直す 英文の作成 英文をグループ内で発表し、英文をよりわかりやすいものにする。 発表によるクラス全体での共有 <p>期末後に最もよいと思われる作文を発表。</p>		<p>4. 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期考査（年間3回） 課題提出 ペア・グループ活動に対する姿勢 <p>5. 年間計画</p> <p><1学期></p> <ul style="list-style-type: none"> 大学入試における作文の取り扱いについて 名詞周辺の理解、および前置詞への理解 可算名詞・不可算名詞について 単数・複数について 定冠詞について 前置詞について Crown English Expression II Part 2 の総復習・定着 課題英作文の作成 100語 <p><夏期休暇></p> <ul style="list-style-type: none"> 課題英作文の作成 <p><2学期></p> <ul style="list-style-type: none"> Write to the point を利用した和文英訳の演習 課題英作文の作成 <p><3学期></p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語について 	
		<p>◇使用教科書 『CROWN English Expression II』（三省堂）</p> <p>◇副教材 『ビジョン・クエスト総合英語』（啓林館） 『Write to the Point』（Chart Institute）</p>	

科目名：選択英語（基礎）	学年：3年	単位数：2	担当者名：飯尾 力
<p>1. 指導計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の読解や表現に必要な語彙を学習する。 ・英語の読解や表現に必要な文法の基礎力をつける。 <p>2. 評価観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な予習をして授業に臨んでいるか。 ・主体的、積極的に授業に参加しているか。 ・意識して苦手分野の克服に努力しているか。 ・学習範囲の語彙を習得しているか。 ・基礎的な文法を理解しているか。 <p>3. 指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語熟語の発音練習及び問題演習 ・文法・語法の説明及び問題演習 <p>4. 評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・特別課題等 <p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 > Unit 1 ～ 5 期末考査</p> <p>< 2 学期 > Unit 6 ～ 10 考査（特別時間割期間） 期末考査</p> <p>< 3 学期 > Unit 11 問題演習</p>		<p>副教材・テキスト等</p> <p>『Practice 英文法道場』（桐原書店） 『CROWN English CommunicationⅢ』（三省堂）（コミュニケーション英語Ⅲテキスト） 『Power Frame 850』（桐原書店）</p>	

科目名：選択英語（発展）	学年：3年	単位：2	担当者名：乾 まどか
<p>1. 指導目標</p> <p>◇高度な英語読解力・表現力の養成。</p> <p>◇現代の世界的な社会の様相や問題、その歴史的背景について、読解やリスニングを通して広く理解し、それについて考え、意見を持てるようにする。</p> <p>◇CNNニュース動画、音声聞いて、要点をまとめ、自分の意見を述べる。</p> <p>2. 評価の観点</p> <p>◇主体的、積極的に授業に参加しているか。</p> <p>◇細部にわたってきめ細かく取り組んでいるか。</p> <p>◇クラスメイトの前で自分の意見を堂々と述べることができるか。</p> <p>3. 授業方法</p> <p>◇リスニング</p> <p>◇速読</p> <p>◇精読</p> <p>◇問題演習</p> <p>◇サマリー</p> <p>◇ディスカッション</p> <p>4. 評価の方法</p> <p>定期考査の得点、小テスト、提出物の得点を基準にして総合的に評価する。</p> <p>(1) 定期考査－100点満点の筆記試験 2回</p> <p>(2) 小テスト－単語、構文、文法など</p> <p>(3) 要約文、本文の背景などの調べ学習、などの課題</p> <p>(1), (2)以外にも授業の出席状況、参加度、提出物なども評価に含める。</p>		<p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 ></p> <p>『SKYWARD COSMOS 』 Unit 1 ~ Unit 8 『The Reflex 643』 Unit 1 -10</p> <p>< 2 学期 ></p> <p>『SKYWARD COSMOS 』 Unit 9 ~ 20 『The Reflex 643』 Unit 11 -20</p> <p>< 3 学期 ></p> <p>◇様々な英文読解演習</p>	
<p>副教材・テキスト等</p> <p>『The Reflex 643』（桐原書店）</p> <p>『SKYWARD COSMOS 』（桐原書店）</p> <p>『CNN ENGLISH EXPRESS 』 朝日出版</p>			